

NO.139

# とよしん 景況調査

(2025年1月～3月実績 2025年4月～6月見通し)

特別調査／ 外国人労働者の雇用と外国向けの取組みについて  
スポットライト～がんばる地元企業～／ 株式会社あつみ編集舎



＼みんなにエール！／

豊橋信用金庫

2025年4月発行

## 目次

Page

01

## 第139回景況アンケート調査

(2025年1月～3月実績 2025年4月～6月見通し)

PickUp 建設業 一人手不足の解決に向けて

Page

04

## 特別調査

「外国人労働者の雇用と  
外国向けの取組みについて」

Page

06

スポットライト～がんばる地元企業～

## 株式会社あつみ編集舎

地域内外の人たちがつながる「市」をデザインする



## 第139回景況アンケート調査(1～3月期)・特別調査の概要

(1) 調査期間 2025年2月17日(月)～3月7日(金)

(2) 調査方法 当金庫職員による聞き取りアンケート調査

(3) 分析方法 DI(ディフュージョン・インデックス)を  
中心とした分析※DIとは、各調査項目で「増加(上昇)した」とする企業が  
全体に占める構成比と、「減少(下降)した」とする企業  
が全体に占める構成比との差を指数化したもの。

(4) 調査対象企業 当金庫取引先企業 660社

製造業158社、卸売業72社、小売業74社、  
サービス業98社、建設業107社、農業61社、  
飲食業54社、運輸業22社、不動産業14社

2025年1～3月期(今期)の業況判断DIは、3.3(前期比△7.9ポイント)で、プラス圏内を維持するも、全体で1年ぶりに悪化した。

収益面では、売上高判断DIが11.8(前期比△9.3ポイント)、収益判断DIが2.4(前期比△6.5ポイント)で悪化した。9業種のうち製造業のみが

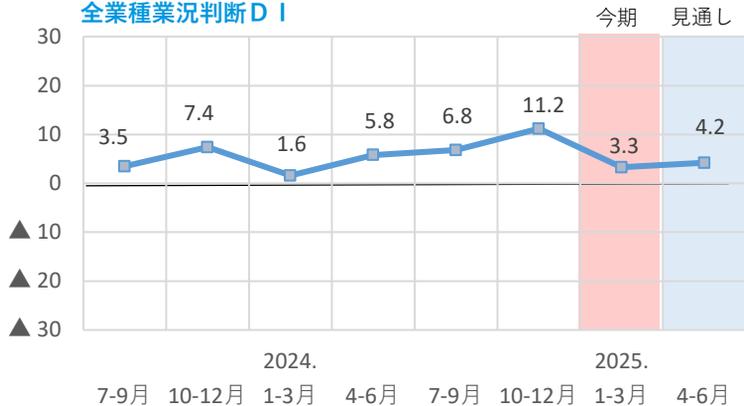


この景況アンケート調査は、当金庫の取引先企業660社を対象に、2025年1～3月期の景況と2025年4～6月期の見通しを調査したものです。

# 1年ぶりに業況低下 製造業は改善、飲食業や運輸業を 中心に非製造業は悪化



全業種業況判断DI



改善、その他の業種は横ばい、もしくは悪化となった。

## 来期の見通し

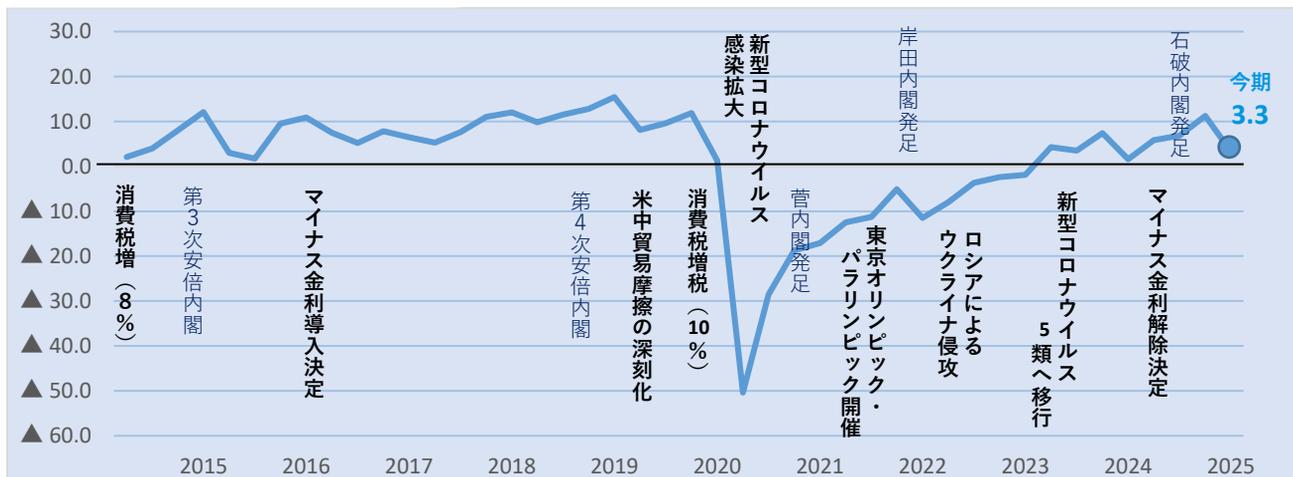
2025年4～6月期(来期)の予想業況判断DIは、4.2。今期実績比+0.9ポイントで横ばいに推移する見込み。

製造業の予想業況判断DIは、13.9(今期比+9.5ポイント)でさらに改善する見込み。一方、サービス業の予想業況DIは、マイナス6.1で悪化する見通しだ。コメントからは、人口減少、趣味や嗜好の多様化、インバウンドや外国人雇用など、時代の変化に対応しながら、新たな取組みを行っている様子が伺えた。

去年も1-3月は低下してるね。



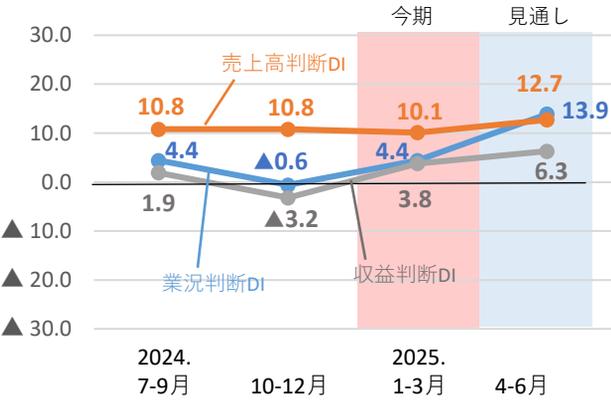
## 業況判断DI 10年間の推移



業種別天気図



業種	10～12月期 (前回)	1～3月期 (今回)	4～6月期 (見通し)	業種	10～12月期 (前回)	1～3月期 (今回)	4～6月期 (見通し)
全業種	11.2	3.3 (▲7.9)	4.2 (+0.9)	飲食業	22.2	▲11.1 (▲33.3)	0.0 (+11.1)
製造業	▲0.6	4.4 (+5.0)	13.9 (+9.5)	運輸業	18.2	▲9.1 (▲27.3)	0.0 (+9.1)
卸売業	11.1	▲1.4 (▲12.5)	9.7 (+11.1)	不動産業	0.0	▲7.1 (▲7.1)	▲14.3 (▲7.2)
小売業	5.4	▲2.7 (▲8.1)	▲1.4 (+1.3)				
サービス業	9.2	9.2 (±0)	▲6.1 (▲15.3)				
建設業	18.7	8.4 (▲10.3)	1.9 (▲6.5)				
農業	29.5	15.0 (▲14.5)	10.0 (▲5.0)				



**製造業**

全業種のうち業況判断DIに改善が見られたのは製造業のみ

今期の業況判断DIは4・4（前期比+5・0ポイント）で、前期のマイナス圏からプラス圏へ持ち直した。特に、収益判断DIは3・8（前期比+7・0ポイント）と大きく改善、売上高判断DIは10・1（前期比△0・7ポイント）で横ばいに推移した。

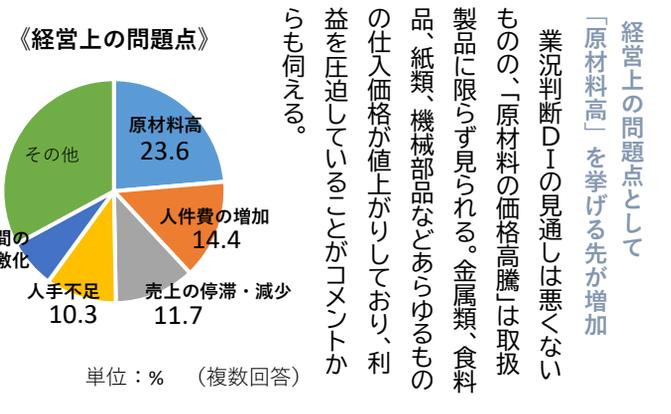


**卸売業**

半数の企業が「仕入価格上昇」と回答

今期の業況判断DIはマイナス1・4、前期比△12・5ポイントで悪化した。売上高判断DIは16・7（前期比△13・9ポイント）、収益判断DIは1・4（前期比△18・0ポイント）で、いずれも悪化した。

卸売業の72先のうち、およそ半数の37先が今期の仕入価格について「上昇」「やや上昇」と回答した。



### 小売業

宣伝・広告の強化に取組む

今期の業況判断DIはマイナス  
2・7、前期比△8・1ポイント悪化した。来期の予想業況判断DIもマイナス1・4で見通しも良くない。SNSを活用したPR活動、新規取引先の開拓、新事業への取組みなど各企業が様々な施策を行っていることが伺えた。

### サービス業

来期は悪化の見通し

今期の業況判断DIは9・2、前期と横ばい(前回は9・2)だった。来期の予想業況判断DIはマイナス6・1で悪化する見込み。

資金繰り判断DIはマイナス7・1とマイナスに転じており、収益面での厳しさが感じられる。

### 農業

「重油価格の高騰」が収益を圧迫

今期の業況判断DIは15・0、売上高判断DIは25・0、収益判断DIは13・3で前期より低下しているが、高い水準を維持。低下要因の一つとしては、温室栽培に欠かせない重油価格の高騰が収益を圧迫していることが挙げられる。

### PickUp

### 建設業

プラス圏内を維持するも悪化傾向  
仕入価格は依然高止まり



今期の業況判断DIは8・4、前期比△10・3ポイント悪化した。売上高判断DIは13・1(前期比△3・7ポイント)、収益判断DIは11・2(前期比+3・7ポイント)だった。来期の予想業況判断DIは、1・9と低下する見込み。  
仕入価格判断DIは、44・9(前回は44・3)と高く、資材価格の高騰は続いており、予想収益判断DIも0・9で低下する見通しだ。

### 建設業の人手不足問題

建設業の人手不足判断DIは、マイナス29・2と9業種で最も低く、建設業における人材不足の厳しさが伺える。建設業では、44・8%の調査先が「人手不足」を経営上の課題として挙げており、「特に若い世代の確保が本

当に難しい。「今の人員で納期に間に合わせられるか不安に思うこともある。」などの声が聞かれた。

### 人手不足の解決に向けて

一方で、人手不足の解決に向けて様々な施策を行っていることも伺えた。

### 1 外国人労働者の受入れ

建設分野で活躍する外国人の数はおよそ11万人※(2022年)で、その人数は年々増加している。建設現場にて外国人労働者を見かけることも増え、実際に「外国人労働者を採用して人材確保できた。」先もある。



※国土交通省「建設分野における外国人材の受入れより

### 2 省人力化



IT技術を活用し、「ICT重機」や「ICT端末」などの導入が進んでいる。作業負担を減らしたり、若年層や女性の人材確保に成功している例もある。

### 3 副業人材の活用



人材定着や採用活動において「副業人材」を活用する例も増えている。当金庫でも副業人材の活用についてサポートしている。

### 飲食業

食料品価格の高騰が厳しく

今期の業況判断DIはマイナス11・1、前期比△33・3ポイントで大幅に悪化した。年末の季節需要が落ち着き、食料品価格高騰分の販売価格への転嫁が追い付いていないと思われる。

### 運輸業

出荷量減少が売上に影響

今期の業況判断DIは、マイナス9・1で大幅に悪化した。燃料費や人件費の高騰、「青果の出荷量減少により売上が減少した。」との声もあった。

### 不動産業

不動産売買の動きは鈍く、今期の業績にも影響

今期の業況判断DIは、マイナス7・1、来期の予想業況判断DIもマイナス14・3で、さらに悪化する見込み。不動産売買・仲介は低調で、前年と比べた売上・収益判断DIはともに△14・3だった。

アンケートのご協力  
ありがとうございました！





特別調査

# 外国人労働者の雇用と 外国向けの取組みに ついて

調査期間：2月17日(月)～3月7日(金)  
調査対象：当金庫お取引先企業660社

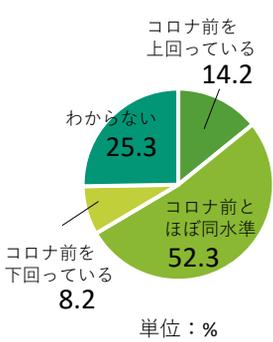
日本で働く外国人労働者数、訪日外国人旅行客数は過去最高を記録した(※)。この東三河地域においても、外国人は地域経済や社会を支える重要な担い手となっている。今回の特別調査では、当金庫取引先企業660社を対象に外国人労働者の雇用や、外国人・外国企業向けの取組みについて調査した。

※外国人労働者数は230万人(令和6年10月末時点/厚生労働省)、2024年の年間訪日外国人旅行客数は3,686万人(日本政府観光局)。いずれも過去最高を記録。

## 外国の方と接する機会について(コロナ前後の変化)

半数が「ほぼ同水準」と回答。

事業環境や地域社会の中で、外国の方と接する機会がコロナ前後でどのように変化したかを聞いた。およそ半数の企業は「ほぼ同水準」と回答。業種別に見ると、サービス業の26.9%が「コロナ前を上回っている」と回答しており、他業種より高かった。

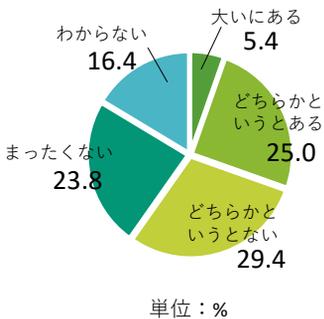


外国人や外国企業向けに、ビジネスチャンスを増やしたいか

## 卸売業、製造業、小売業はビジネスチャンスへの期待が高め。

続いて、外国向けにビジネスチャンスを増やしたいか意向を聞いた。全体では、「どちらかというとな い」「まったくない」が合わせて53.2%で、消極的な様子が伺える。業種別では、卸売業の40.0%、製造業の37.0%、小売業の36.6%が「どちらかというところ」「大いにある」と回答しており、他業種と比べて期待度が高かった。

外国向けにビジネスチャンスを増やしたいか



## Toyohashi Thinking

### 東三河地域と外国人

愛知県は全国的にも外国人が多く暮らす地域で、2023年1月1日現在の外国人人口は278,116人です。東三河地域全体では33,065人、そのうち最も多い豊橋市は19,548人で豊橋市の人口の5.3%にあたります。

東三河地域の外国人労働者数も右肩上がりに増加しており、特に「医療、福祉」は2019年から2022年にかけて約1.8倍に増加しています。

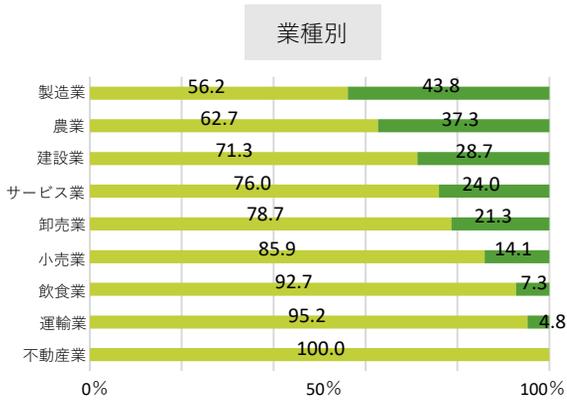
<東三河地域の外国人労働者数の推移>



地域の中で、外国人労働者の方を見かけることが多くなったね!



参考：公益社団法人東三河地域研究センターHRRC Focus「外国人受け入れ制度と東三河地域における外国人の状況」総務省(2023)「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、厚生労働省、厚生労働省愛知労働局(2023)「外国人雇用状況の届出状況」

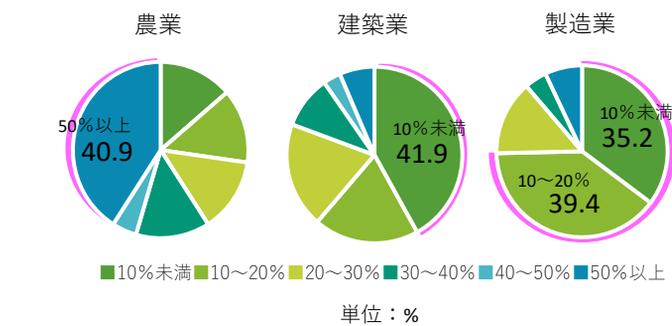


外国人労働者を雇用しているかどうかを聞いたところ、調査先のうち、およそ4分の1の企業が「雇用している」と回答した。業種別では、製造業、農業、建設業の順で外国人労働者の雇用割合が高いことが分かった。

外国人労働者の雇用状況

およそ4分の1の企業で雇用

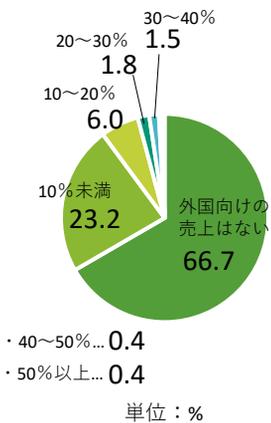
外国人労働者を雇用しているかどうかを聞いたところ、調査先のうち、およそ4分の1の企業が「雇用している」と回答した。業種別では、製造業、農業、建設業の順で外国人労働者の雇用割合が高いことが分かった。



農業(※)では、4割の企業で従業員全体の「半数以上が外国人労働者」。※「外国人を雇っている」と回答した先

外国人労働者の雇用割合が高かった製造業、農業、建設業について、従業員全体に占める外国人労働者の割合をみると、最も高いのは農業で、全従業員のうち「50%以上」が外国人労働者の企業が4割に上った。

従業員全体に占める外国人労働者の割合

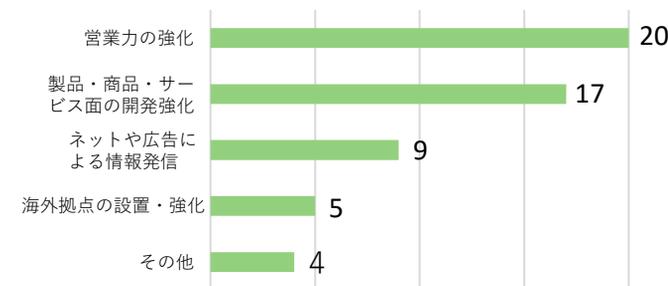


外国人(旅行者を含む)、もしくは外国企業向けの売上げ(輸出を含む)については、6割以上の企業が「外国向けの売上げはない」と回答した。一方、飲食業や小売業では、およそ半数の企業が、「売上げがある」と回答。売上全体に占める割合は高くないものの、今後の動向に注目したい結果となった。

今後の動向に注目

売上全体に占める外国人・外国企業向けの売上げ

地域を支える大切な労働力であり、地域で共に暮らす仲間だね。



業種によって様々な取組み

「外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っている」と回答した55先に対して、特に行っている取組みについて聞いた。具体的には、サービス業や飲食業では「英語表記の充実」、製造業では「輸出に関する情報収集」などに取組んでいることが分かった。

外国向けの売上げを増加させるための取組み



地域内外の人たちがつながる「市」をデザインする

## 株式会社 あつみ編集舎

所在地:田原市福江町中羽根79番地1

代表者:渡会 一仁

設立:昭和35年4月

HP:<https://atsumi-lei.com>



ATSUMI\_LEI

## かつてのシンボル

### 地域活性化の新たな拠点へ

田原市福江町の旧渥美町中心部に、地域の方々の思い出が刻まれシンボリックな存在であった複合商業施設「シヨッピングセンターレイ」は、老朽化、人口減少や大手量販店進出などの影響により令和4年3月に約半世紀の営業を終え、惜しまれつつ閉店した。あつみ編集舎は、空き店舗となっていたシヨッピングセンターを改装し、令和7年2月にスーパーマーケット、クラフトビールの製造・販売、ゲストハウスなど地域住民や観光客などが集う複合施設「あつみの市レイ」を開店させ、次の50年に向けて新たな賑わいを生み出す場として地域活性化の拠点を目指していく。

### あつみグループが目指すエコサークルな社会の実現。

あつみグループ(株式会社 渥美フーズ、株式会社 あつみ編集舎)は、渥美半島を中心にスーパーマーケット6店舗、レストランや産直マルシェを展開。地域の食と健康を育み、「働き手よし、売り手よし、買い手よし、世間よし、自然よし」の五方良しの心で、エコサークルな社会を目指している。

また、スーパーマーケットの店舗から排出される食品廃棄物を堆肥化のうえ、自社で運営する農場で活用し、そこで生産された農産物を「めぐる」シリーズとして自社店舗で販売するというリサイクルグループを構築している。



あつみグループが運営する鶏舎

循環型社会の形成に貢献する取組みとして、2024年愛知環境賞・優秀賞を受賞する等、幅広く評価されている。

### 地域活性化の実現に向けた想いと地域と連携した補助金の活用。

約半世紀にわたり地域を支えてきたシヨッピングセンターレイは、令和4年3月に惜しまれつつ閉店。

街中にぽっかりと大きな穴が開いた状態になっており、渡会社長は、「地域の方々の様々な思い出が刻まれたシンボリックな施設をこの地に残し、地域振興・発展を目指す拠点に生まれ変わらせた」との想いからリニューアルすることを決断した。

豊橋信用金庫 福江支店へ相談し、総務省の「ローカル10000プロジェクト」の申請について事業構想段階よりサポートを受け、採択された。

※ローカル10000プロジェクト(地域経済循環創造事業交付金)は、産学資金の連携により、地域の人材・資源・資金を活用した新たなビジネスを立ち上げようとする民間事業者などの初期投資費用を支援する総務省の事業。

## スポットライト～がんばる地元企業～

**地域住民と観光客など多様な人たちのコミュニケーションが生まれる複合施設の誕生。**

約半世紀にわたり地域を支えてきたシヨッピングセンターレイは、令和7年2月に「あつみの市レイ」として再始動した。「あつみの市レイ」という名前には、地域の人が集う場所、そしてその魅力を求めて集まってくる地域外の人たちがつながる、まるで「市」のような場所を作りたい、そのための「コミュニケーション」の役割を担う施設になってほしいといった思いが込められている。

新施設は、あつみ編集舎が企画特化型のテナント運営を担い、多様な出店者を誘致した。1階には、食品スーパー「フードオアシスあつみ福江店」を移転、さらにブリュワリー事業にチャレンジし、メロン・甘夏・ブルーベリー・イチゴなど、渥美半島の豊かな農産物資源を活用した独特の風味や味、コクのあるオリジナルクラフトビールを製造・販売する「渥美半島醸造」「あつみ食堂」「パン工房あつみ」など、地域の魅力を余すことなく楽しむことができる施設となっている。また2階には、ゲストハウスを設け、半個室や一部屋を複数人で共有するドミトリタイプを用意している。

観光客やツーリング客、学生の合宿、企業研修、お試し移住など様々なシーンに対応できるよう工夫した間取りとなっている。またゲストと地元の人、ゲスト同士の出会いが広がるスペースも配置している。ビール醸造所や2階のゲストハウスは5月より本格的に稼働開始となる予定である。



オリジナルクラフトビールが楽しめるブリュワリー

**地元住民や観光客、地域の農業生産者を巻き込んだイベントにより魅力発信**

「あつみの市レイ」は、1階の前面に、様々なイベントを開催できる全天候型スペースを設け、3月には「第1回 渥美半島トマトまつり」と題し、来場者が決めるトマトナンバーワン！トマトコン2025やトマトの食べ比べコーナー、限定20食のスペシャルトマトランチ、農園見学ツアーなど7大イベントを開催し好評を博した。

また、同じく3月にいちごスイーツフェアを開催。地元いちごを使った出店者7者がスイーツを提供。春の空気を感しながら、旬のいちごを味わい、「弾き語り」や「フラダンス」などのライブパフォーマンスも開催し人々を大いに楽しませるイベントとなった。

その他、地元バンドグループやDJによる音楽ステージ、マグロ解体ショー、ライダーのためのバイクフェスティバルなど、趣向をこらしたイベントを開催済みで、今後もアドベンチャーリズムや農業体験アクティビティ、ビアガーデンなど様々なイベントを仕掛けていき地元渥美半島を農畜産関係者とも連携を深め盛り上げていく。



イベントスペースで開催された音楽イベント

**地域内外のコミュニケーションが50年後のあつみをカタチづくる**

あつみ編集舎は、失われつつある地域の人たちがつながり、地域の人たちが地域外の人たちとつながる。このふたつのコミュニケーションこそが50年後のあつみをカタチづくと考えている。

子供が少なくなり、活力が失われようとする中でも、渥美半島には大きな魅力や可能性がある。新幹線駅から1時間であることができることから、これまで以上に人を呼び込むことで地域内外のコミュニケーションを活性化することができる。

時代に合わせた業態に生まれ変わることで地元民、観光客などを楽しませる新生レイは、50年後のこのまちにブレゼントをつくるため、地域活性化の拠点として存在感を発揮していく。



【豊橋信用金庫 福江支店・事業支援部】



# 地域に届ける、広がる、 コミュニケーション！

## ■ とよしんInstagram



「豊橋信用金庫\みんなにエール！/」

「みんなにエール！」を、ここから。

とよしんが、地域にエールを贈る様子や地域の未来を考える活動「TOYOHASHI\_THINKING」をお届けしています。

## ■ LINE公式アカウント



@toyoshin

友だち登録で、キャンペーン  
情報などお得な情報をお届け！



豊橋市小畷町579番地  
TEL (0532) - 52 - 0321(代)  
<https://www.toyo-shin.co.jp>



\みんなにエール！/  
豊橋信用金庫